

公民館報 まつもと

発行

2023

1/30

松本城イルミネーション

- 問い合わせ 中央公民館
TEL 32-1132 FAX 37-1153
- 編集 公民館報編集委員会
- 印刷 株式会社プラルト

8ミリフィルムが活躍した松本の歴史

動画はこちら

かつて松本の地で生きてきた人々の記憶をつないでいくことは、今を生きる私たちの重要な務めです。思い出が詰まった8ミリフィルムを集め、地域映画を制作する取組みが始まっています。

8ミリフィルムは

皆さんは、ビデオテープやDVDが普及する以前に、8ミリフィルムと呼ばれる映像記録媒体があったことを覚えていますか。8ミリフィルムの多くが、「ホームムービー」と呼ばれる家庭の記録であり、子どもの頃の思い出が8ミリフィルムに収められている方も多いかもしれません。

地域映画として残す

8ミリフィルムは、1960年代半ばから1980年代にかけて一般に普及しました。しかし、製造販売は2012年に一旦は終了し、現在は手に入れることだけでなく、現

存することも困難です。当時の貴重な記録を収めたフィルムの多くは、行くあてなく処分されるか、たんすの肥しになっています。

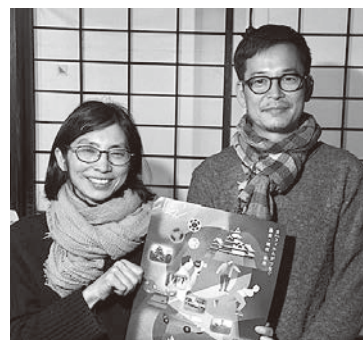
今年度は1時間ほどの地域映画を完成させるため、松本で撮影された8ミリフィルムを広く市民に募集しました。現在、345本のフィルムが集まっています。合わせて、撮影者へのインタビューや映画のBGMに使用する音源の録音も行い、2月の上映会に向け編集作業を進めています。

「地域映画」の制作に取組む団体が「まつもとフィルムコンズ」です。大学生から80代まで幅広い世代の市民が活動に参加しており、制作活動、地域映画の上映や座談会を通して交流しています。

監督の三好大輔さんは「過

時代をつなぐ役割

監督の三好大輔さんは「過



監督と事務局を担う三好さん夫婦

地域映画

「まつもと日和」
完成上映会

開始時間

2月25日(土)
13:30・17:00

2月26日(日)
10:00・14:00・19:00

場所

Mウイング6階

※入場無料/各回先着順

スマホを使えば簡単に撮影ができる時代ではありますが、映像が持つ力を今一度、見つめ直したいところです。

いくことができます。

去と現在、未来をつなぐことができる点が地域映画の魅力。映像を見ることで自身の記憶を呼び起こす機会になる」と話します。一本の8ミリフィルムに収められた映像は、わずか3分ほどの短い映像ですが、そこには古き良き松本の姿と、そこに住む人々の息遣いが映像として記録されています。その映像を見て学び、見た人同士で語り合うなかで、未来へと記憶をつなげていくことができます。

わがまち自慢(中央地区)

ペタンクの県代表に

令和5年10月に開催される「ねんりんピック愛媛」ペタンク競技の長野県代表になりました。

10月22日に伊那市で行われた「2022信州ねんりんピックスポーツ交流大会」ペタンクの部に中央地区から出場したのは3チーム、その中のCチーム(高野和子・藤森典人・山本文彦)3名が見事優勝し、全国大会への切符を手に入れました。

実績も着実に重ねています。優勝チームの高野和子さんは「全国大会で採用されるルールを学んでいる。メンバー11人ほぼ全員が参加し、毎回試合形式での練習もしている。目標はまずは1勝したい」と意気込みを語りました。「ねんりんピック愛媛2023」は令和5年10月に行われます。60歳以上の幅広い方が参加できる10種目の競技が繰り広げられます。

中央地区のペタンクチームは令和元年と令和4年に行われた「松本市高齢者ペタンク大会」でも優勝しており、



月に2回の全員練習(蚕糸記念公園グラウンド)

ペタンク競技のルール

(室内版・今回の競技ルールとは異なります)

【提供:(公財)日本レクリエーション協会】



3年ぶりの想いを込めて 波田文化祭開催!

ちびっ子、パパ、ママ、おじいちゃん、おばあちゃん
11月5日(土)・6日(日) 来場者約 2,000人がすてきな笑顔と
ふれあいの2日間を満喫。思い思いの催しを心ゆくまで楽しんでいました!

館報
はた



スージーちゃん スイガクくん

令和5年1月1日現在

世帯数	6,321戸
人口	15,437人
男	7,510人
女	7,927人



似顔絵コーナー



手品体験!
じょうずに
できるかな?

マジックショー



もちつき体験

家族の微笑ましい姿が
とても印象的でした!



すごい作品だね!
じいちゃん



小春日和
じいちゃん、
ばあちゃんと
勾玉づくり



ビーブス体験
してみたよ!

作品展示コーナー

演奏・演説発表



16区町会

しめ縄作り

16区では、「そば打ち・しめ縄作り」を毎年12月に開催しています。子ども会育成会・老人クラブの方々の協力のもと、公民館行事として毎年開催していますが、ここ3年間はコロナ禍もあり、しめ縄作りのみの開催となっております。

年々、子どもの数の減少や町会住民の高齢化により、参加者も減少傾向ではありますが、集まった参加者たちは、世間話をしながら手際よくしめ縄作りに精を出します。



平穏無事を祈ります。

少子高齢化が進み、地区の伝統行事の継承もだんだん困難になりつつあります。

「伝統は伝承 継承していくのも 永く続いていく してくれることを 願います。」



ここで作られたしめ縄は、16区内にある稲荷神社と道祖神に飾り付け、一年の無病息災、

ふれあい演奏会 楽団ケトセラ コンサート

波田地区人権啓発推進協議会主催のふれあいコンサートが波田公民館大会議室で開催されました。楽



団ケトセラは、障がいを持つ若者たちが自立を目指し、音楽活動を生業として活動しているNPO法人の団体です。

コンサートでは、18人のミュージシャンが幅広いジャンルの演奏を元氣いっぱい披露してくれました。会場は、ほぼ満席で、演奏者と観客が一体となって、歌ありダンスありと、とても楽しく、心も体も元氣いっぱいになりました。

当日は、地区内バスで巡回し、普段あまり外出できない方々にも来ていただき、楽しんでおられました。



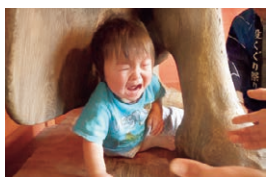
14区

仁王尊と若返り地蔵



14区には、県宝の「木造金剛力士像(仁王尊)」があり、阿形像の股の間を子どもがくぐると、麻疹(はしか)が軽くなり、すみ丈夫に育つといわれ、コロナ前には毎年多くの親子が「仁王尊股くぐり祭り」に訪れていました。怖くて泣いてしまったり、笑顔でくぐる子もいて、見守る家族を含め、微笑ましい光景は春の風物詩です。

仁王門を奥まで進むと阿彌陀堂があり、すぐ横には若返り地蔵尊があります。手前におかれた「若返りの水」を一杯飲んでからお参りすると、心身共に若返り、生きる活力がみなぎるそうです。現在の窮屈な生活に疲れた私たちに御利益がありそうです。



コロナの影響で、3年ほど「股くぐり祭り」は中止されていますが、ぜひ今年は開催され、泣き笑いの賑やかな声がたくさん聞こえるといいですね、仁王様!

地域活動に初参加

波田に越してから35年経ち、定年退職を迎えました。単身赴任の期間が長く、地域との関わりも浅かったため不安を抱えていましたが、地元「若澤寺史跡保存会」の存在を知り、参加することにしました。



主な活動は、年5回の史跡整備作業です。今

年は7月と11月に参加しました。近所の先輩の軽トラに同乗させていただき現地に到着。山奥の史跡の広大なことに驚きました。夢中で草刈りを行い、瞬く間に時間が過ぎました。

「若澤寺史跡保存会」の皆さんは親切で、楽しく作業を行うことができました。これを機会に若澤寺の歴史も学び、地域活動に参加していきたいと思えます。

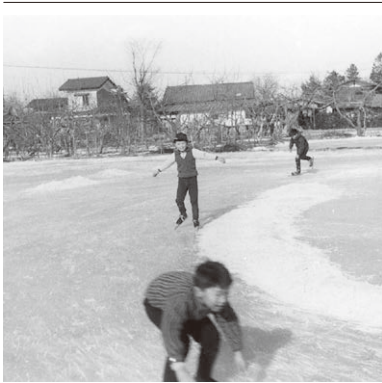


まげぼ

地球温暖化のためか雪の降る量も少なくなり、諏訪湖の御神渡りも最近見られない年が続いています。

さて、私が小学生時代の事になりますが、当時雪は多く、日陰の雪やバケツの水は寒さで溶けず凍り続けていました。家の庭で「かまくら」をついたり、学校の授業では、肥料袋やソリを持って近くの斜面の小道を滑りに、わざと道を外れ転がったり、今考えればちょっと冒険的な授業でした。また学校で借りた田んぼでは、水を凍らせ、授業

でスケートもしました。家から近かったこともあり、下校後このスケート場を独り占めです。薄氷の上にわざと乗り、割れる寸前に抜け出すような遊びをして、転んで頭やあごを打ちながらも楽しめました。



未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い

第38回公民館研究集会 令和4年度地域づくり市民活動研究集会

●テーマ **未来を切り拓く学びと自治** ～ポストコロナにおける地域再生～

●期日 **2月19日(日)** ●会場 **松本市中央公民館(Mウイング)**

※第8分科会のみ、坊主山クラインガルテンクラブハウス

日程	9:00 受付	9:30～9:55 開会式	10:00～12:00 全体会(基調講演・対談)	12:00～13:00 休憩・昼食	13:00～16:30 分科会
----	------------	------------------	-----------------------------	----------------------	--------------------

内容

■基調講演・対談 **「未来に託せる地域を目指す人々の学びと取り組み」**

講師 東北大学大学院教育学研究科 准教授 石井山 竜平 氏

聞き手 松本大学総合経営学部観光ホスピタリティ学科 准教授 向井 健 氏

ホームページ
二次元コード



分科会	テーマ
第1分科会	子どもたちの生きる力を高めるために ～地域を舞台とした体験・学びから見えるもの～
第2分科会	松本の伝統行事を次世代につなげよう! ～ぼんぼんと青山様・三九郎～
第3分科会	「地域行事」って必要なの? ～現代における地域行事は今～
第4分科会	顔が見える関係づくり ～気軽に使える町内公民館～
第5分科会	誰もが安心して暮らせる地域を目指して!! ～地域包括ケア・生活支援体制整備～
第6分科会	地域防災を進めるために必要なこと ～地域づくりの視点から考える～
第7分科会	ワカモノ×地域=賑わす ～若い世代の地域参加を考えよう～
第8分科会	中山間地域の持続可能な地域づくり ～奈川・四賀の事例から考える～

【主催】松本市・松本市教育委員会・松本市地域づくり研究連絡会

【主管】未来へつなぐ私たちのまちづくりの集い実行委員会

参加申込方法 2月10日(金)までに、必要事項(氏名/住所/電話番号/参加を希望する分科会/手話・要約筆記・託児保育の必要の有無)を専用フォームもしくは最寄りの地区公民館・集會事務局(中央公民館)へ電子メール、電話、FAX、窓口でお申込みください。

事務局 松本市教育委員会 生涯学習課・中央公民館(Mウイング)
〒390-0811 松本市中央1丁目18-1 TEL 0263-32-1132/FAX 0263-37-1157
E-mail:gakushu@city.matsumoto.lg.jp

申込フォーム
二次元コード



おこひる

3年ぶりの長距離ドライブをしてきた。コロナの影響で遠ざかっていた日常がようやく元に戻り始めています。コロナ禍前までは、年1回は顔を合わせてそれぞれが無事を確認していたが、この3年間はお互いに自粛していた。片道3時間で200キロの移動がまだ無事にできるかなとふと思っている自分がいた。そろそろ微妙に体力も落ちてきているのが自分でも認識できる年代にかかってくる。内心心配ではあったがなんとか無事に往復して来れた。久しぶりに会った友人達の容姿は、それなりに歳を重ねていた。次回はみんなの出会いの原点になる場所で再会する計画をしてきた。いつものようにおおよその時期は、秋ごろが良いと決めたが、日は幹事が検討してから連絡するということだ。久しぶりの遠出と再会をなんとか楽しんでくることできた。



森・杜探検隊ヤマメのつかみ取り

西の玄関口

人口 66,866 人（世帯数 29,111）、長野自動車道松本 IC、長野県合同庁舎、松本市歴史の里、長野県松本筑摩高等学校、松本市立高綱中学校・島立小学校があります。コロナ禍でさまざまな活動が停滞していましたが、子どもを取り巻く活動は徐々に戻りつつあります。

子ども食堂から発展した「ゆいま〜る子どもひろば」は松本大学とボランティア団

奈良井川の西側に位置し、東部は商業地域、南部・西部には田園地帯が広がり、キュウリ、トマトの生産が有名です。

歴史探訪
探ろう松本 32
島立地区

「島立」と書かれています。西に向かう野麦街道（飛驒道）、北に向かう千国街道・仁科街道が区内を通過しており、越中富山や糸魚川などとの交易の重要拠点でした。古くは縄文の遺跡があり、高速道路工事に伴う発掘調査では、奈良・平安時代の複合住居跡が確認されました。左波理椀（銅合金の椀）や釉薬のかかった焼物が出土し、身分の高い人が住んでいたと考えられます。

それは昔から

地区名は、1347年（貞和3年）4月に足利尊氏から小笠原定宗にあてた下文に「島立」と書かれています。西に向かう野麦街道（飛驒道）、北に向かう千国街道・仁科街道が区内を通過しており、越中富山や糸魚川などとの交易の重要拠点でした。古くは縄文の遺跡があり、高速道路工事に伴う発掘調査では、奈良・平安時代の複合住居跡が確認されました。左波理椀（銅合金の椀）や釉薬のかかった焼物が出土し、身分の高い人が住んでいたと考えられます。

子どもたちの活動は、今後実施できる方法を探りながら、新しいものも取り入れていきたいと考えています。

次世代に伝える

沙田神社は西と卯の年に御柱祭が行われます（諏訪大社の翌年）。正行寺には源氏の武将佐々木高綱（了智上人）の墓があり、その子孫といわれる乃木希典大将が詣でました。近くに乃木殿（石塔）が建てられ、乃木橋などにも名が残っています。津島牛頭天王社の、子どもの裸祭りは県無形文化財に指定されています。ほんぽんと青山様、荒井観音堂の八日念仏や団子投げ、道祖神の彩色など民俗行事も残されています。



発掘調査見学会の様子は公民館島立版 令和4年9月号、11月号で



松本平の野鳥たち

オオマシコ (2023.1 大峰高原 写真提供:信州野鳥の会)

全長17cm アトリ・ヒワの仲間で、雪の似合う赤い鳥(オス)として人気が高い。日本では冬鳥として本州中部以北に渡来するが、数はそれほど多くなく、アルプス公園でも稀に見かける程度。萩の実などを好んで食べる。「ピーツ ピーツ」「ピイツ」などの短い声を出す。

表紙について

松本ウインターイルミネーション

12月1日(木)～令和5年2月28日(火) 午後6時から9時 毎日開催。昨年に引き続き開催する冬のイベント。松本城のレーザーマッピングを中心に、各商店街や大型商業施設が連携し、松本のまちを明るく彩るイルミネーション。

(撮影 2022.12.9 松本城)